

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成30年12月13日

【四半期会計期間】 第60期第3四半期(自 平成30年8月1日 至 平成30年10月31日)

【会社名】 株式会社ミサワ

【英訳名】 Misawa & Co.,Ltd.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 三澤 太

【本店の所在の場所】 東京都渋谷区恵比寿四丁目20番3号

【電話番号】 03 - 5793 - 5500 (代表)

【事務連絡者氏名】 取締役シニアマネージャー 鈴木 裕之

【最寄りの連絡場所】 東京都渋谷区恵比寿四丁目20番3号

【電話番号】 03 - 5793 - 5500 (代表)

【事務連絡者氏名】 取締役シニアマネージャー 鈴木 裕之

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第59期 第3四半期 連結累計期間	第60期 第3四半期 連結累計期間	第59期
会計期間	自 平成29年2月1日 至 平成29年10月31日	自 平成30年2月1日 至 平成30年10月31日	自 平成29年2月1日 至 平成30年1月31日
売上高 (千円)	6,749,141	7,575,177	9,195,011
経常利益又は経常損失() (千円)	4,989	302,671	92,341
親会社株主に帰属する四半期純利益 又は親会社株主に帰属する当期純損 失() (千円)	21,261	187,040	318,841
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	40,129	209,364	310,728
純資産額 (千円)	1,420,415	1,278,201	1,069,557
総資産額 (千円)	4,708,822	4,379,374	4,285,482
1株当たり四半期純利益金額又は 1株当たり当期純損失金額() (円)	2.99	26.31	44.85
潜在株式調整後1株当たり四半期純 利益金額 (円)	2.99	26.30	-
自己資本比率 (%)	30.1	29.2	24.9

回次	第59期 第3四半期 連結会計期間	第60期 第3四半期 連結会計期間
会計期間	自 平成29年8月1日 至 平成29年10月31日	自 平成30年8月1日 至 平成30年10月31日
1株当たり四半期純利益金額又は 1株当たり四半期純損失金額() (円)	3.62	8.60

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 第59期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式は存在するものの、1株当たり当期純損失であるため記載しておりません。
3. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

2 【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び連結子会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものです。

(1) 業績の状況

当第3四半期連結累計期間の業績は、第2四半期に引き続き、新商品の販売が好調に推移したこと及び適正在庫が確保できたことに加え、店舗販売員の接客スキルの向上、ECサイトのリニューアルなどにより販売力が強化したことが要因となり、前年比で増収となりました。

また、全社で取り組んでおりますコスト削減に関しましては、業務効率の向上及び経費の見直しが進み、前年比で増益となりました。

その結果、売上高7,575,177千円（前年同四半期比12.2%増）、営業利益354,603千円（前年同四半期比1,239.4%増）、経常利益302,671千円（前年同四半期比5,966.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益187,040千円（前年同四半期比779.7%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりです。

unico事業

第2四半期に引き続き、粗利率の高い家具の販売比率を下げることなく、他カテゴリーにつきましても売上を伸ばすことができました。特に家具に関しましては、当期に投入された新シリーズ「SWELLA」が業績に大きく貢献したとともに、人気シリーズの「ADDAY」も売上牽引いたしました。18AWから発売が開始されましたコタツ「TORNI」も予想より早く完売になるなど売上の獲得に繋がり前年比で増収となりました。

当第3四半期連結累計期間のセグメント売上高は7,428,786千円（前年同四半期比13.0%増）、セグメント利益は372,144千円（前年同四半期比572.0%増）となりました。

food事業

既存業態であるbistro oeuf oeufが堅調に推移しているものの、業態変更によりリニューアルオープンしたBistro KHAMSAは固定客の獲得に苦戦し、またLe Bistrotにつきましても近隣に競合が多く出店してきたことなどから売上を伸ばしきれず、事業全体で厳しい状況が続いております。

その結果、当第3四半期連結累計期間のセグメント売上高は146,390千円（前年同四半期比17.1%減）、セグメント損失は17,540千円（前年同四半期は28,907千円のセグメント損失）となりました。

(2) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(3) 研究開発活動

該当事項はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	19,200,000
計	19,200,000

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成30年10月31日)	提出日現在発行数(株) (平成30年12月13日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	7,110,600	7,110,600	東京証券取引所 (市場第一部)	単元株式数 100株
計	7,110,600	7,110,600	-	-

(注) 普通株式は完全議決権株式であり、権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式であります。

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成30年8月1日～ 平成30年10月31日	1,200	7,110,600	9	380,471	9	360,471

(注) 新株予約権の行使による増加であります。

(6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(平成30年7月31日)に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成30年10月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 400	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 7,107,100	71,071	権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式であります。
単元未満株式	普通株式 1,900	-	-
発行済株式総数	7,109,400	-	-
総株主の議決権	-	71,071	-

(注) 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式86株が含まれております。

【自己株式等】

平成30年10月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 株式会社ミサワ	東京都渋谷区恵比寿四丁目20番3号	400	-	400	0.00
計	-	400	-	400	0.00

2 【役員 の 状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間における役員の変動は、次のとおりであります。

(1) 役職の変動

役名	新職名	旧職名	氏名	異動年月日
取締役	unico事業部(グラフィックデザインチーム)・企画室管掌 兼 企画室シニアマネージャー	unico事業部・企画室管掌 兼 企画室シニアマネージャー	飯塚 智香	平成30年5月11日
取締役	管理部・業務部・unico事業部(グラフィックデザインチームを除く)管掌 兼 管理部シニアマネージャー	管理部門管掌 兼 管理部シニアマネージャー 兼 業務部管掌	鈴木 裕之	平成30年5月11日
取締役	デザイン企画本部管掌 兼 デザイン企画本部シニアマネージャー	unico事業部(グラフィックデザインチーム)・企画室管掌 兼 企画室シニアマネージャー	飯塚 智香	平成30年8月11日
取締役	unico事業本部 商品管理部管掌	商品管理部管掌 兼 商品管理部シニアマネージャー	尾張 睦	平成30年8月11日
取締役	管理本部管掌 兼 unico事業本部 unico事業部管掌 兼 管理本部シニアマネージャー	管理部・業務部・unico事業部(グラフィックデザインチームを除く)管掌 兼 管理部シニアマネージャー	鈴木 裕之	平成30年8月11日

第4 【経理の状況】

1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間(平成30年8月1日から平成30年10月31日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成30年2月1日から平成30年10月31日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年1月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	453,830	548,174
売掛金	486,032	751,689
商品及び製品	1,363,188	1,181,771
仕掛品	1,434	1,900
原材料及び貯蔵品	128,639	106,599
繰延税金資産	158,882	111,726
その他	93,351	85,402
流動資産合計	2,685,359	2,787,263
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	424,658	440,644
その他（純額）	116,264	107,938
有形固定資産合計	540,923	548,582
無形固定資産		
	213,897	206,970
投資その他の資産		
敷金及び保証金	647,321	630,358
繰延税金資産	174,822	183,062
その他	23,158	23,135
投資その他の資産合計	845,302	836,556
固定資産合計	1,600,123	1,592,110
資産合計	4,285,482	4,379,374

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年1月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年10月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	320,224	420,680
1年内返済予定の長期借入金	666,393	634,212
未払法人税等	31,145	85,101
前受金	306,432	372,830
賞与引当金	67,350	122,481
ポイント引当金	122,000	130,000
株主優待引当金	152,000	54,000
その他	464,729	486,252
流動負債合計	2,130,275	2,305,558
固定負債		
長期借入金	1,036,664	737,921
退職給付に係る負債	27,042	26,496
資産除去債務	21,942	22,088
その他	-	9,108
固定負債合計	1,085,649	795,614
負債合計	3,215,924	3,101,172
純資産の部		
株主資本		
資本金	380,462	380,471
資本剰余金	360,462	360,471
利益剰余金	306,459	493,499
自己株式	222	222
株主資本合計	1,047,162	1,234,220
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	21,656	43,980
その他の包括利益累計額合計	21,656	43,980
新株予約権	738	-
純資産合計	1,069,557	1,278,201
負債純資産合計	4,285,482	4,379,374

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

	(単位：千円)	
	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年2月1日 至平成29年10月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年2月1日 至平成30年10月31日)
売上高	6,749,141	7,575,177
売上原価	2,709,636	2,971,345
売上総利益	4,039,505	4,603,831
販売費及び一般管理費	4,013,030	4,249,227
営業利益	26,475	354,603
営業外収益		
受取利息	48	38
運送事故受取保険金	2,615	2,571
保険解約返戻金	4,845	-
その他	2,813	724
営業外収益合計	10,323	3,334
営業外費用		
支払利息	4,967	11,263
為替差損	25,639	41,833
その他	1,202	2,170
営業外費用合計	31,809	55,267
経常利益	4,989	302,671
特別利益		
新株予約権戻入益	792	738
受取保険金	44,512	-
特別利益合計	45,305	738
税金等調整前四半期純利益	50,294	303,409
法人税等	29,033	116,369
四半期純利益	21,261	187,040
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	21,261	187,040

【四半期連結包括利益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年2月1日 至平成29年10月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年2月1日 至平成30年10月31日)
四半期純利益	21,261	187,040
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	18,867	22,323
その他の包括利益合計	18,867	22,323
四半期包括利益	40,129	209,364
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	40,129	209,364
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

【注記事項】

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成29年2月1日 至 平成29年10月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成30年2月1日 至 平成30年10月31日)
減価償却費	160,084千円	139,042千円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自 平成29年2月1日 至 平成29年10月31日)

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 平成30年2月1日 至 平成30年10月31日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成29年2月1日至平成29年10月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計
	unico事業	food事業	
売上高			
外部顧客への売上高	6,572,464	176,676	6,749,141
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-
計	6,572,464	176,676	6,749,141
セグメント利益又は損失()	55,382	28,907	26,475

(注) セグメント利益又は損失()は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

当第3四半期連結累計期間(自平成30年2月1日至平成30年10月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計
	unico事業	food事業	
売上高			
外部顧客への売上高	7,428,786	146,390	7,575,177
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-
計	7,428,786	146,390	7,575,177
セグメント利益又は損失()	372,144	17,540	354,603

(注) セグメント利益又は損失()は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年2月1日 至平成29年10月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年2月1日 至平成30年10月31日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額	2円99銭	26円31銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益金額(千円)	21,261	187,040
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純利益金額(千円)	21,261	187,040
普通株式の期中平均株式数(株)	7,108,298	7,108,988
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	2円99銭	26円30銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益調整額(千円)		
普通株式増加数(株)	5,252	4,062
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要		

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成30年12月13日

株式会社ミサワ
取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 城 戸 和 弘 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 木 村 尚 子 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ミサワの平成30年2月1日から平成31年1月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成30年8月1日から平成30年10月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成30年2月1日から平成30年10月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ミサワ及び連結子会社の平成30年10月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。